

第 2 7 5 回

香川県内水面漁場管理委員会議事録

令和 6 年 7 月 2 5 日

第275回 香川県内水面漁場管理委員会議事録

1. 開催年月日 令和6年7月25日
10時00分～10時30分
2. 開催場所 高松市サンポート1番1号
高松港旅客ターミナルビル7階大会議室
3. 出席した委員
会長 一見和彦
委員 岡田幸憲
" 石田隆幸
" 宮本礼子
" 鈴木登美雄
" 木村晃子
" 長田美絵
" 仲野和夫
" 青木定信
4. 関係列席者（水産課、事務局）
水産課長 柏山浩史
室長補佐兼事務局次長 藤原宗弘
室長補佐兼事務局次長 大山憲一
副主幹 小林武
副主幹 赤井紀子
主任 湯谷篤
主任 秦正樹
技師 丸山俊輔
5. 議事事項とその結果
第1号議案 「内水面漁場計画の変更案について（事前協議）」
内容について事務局が説明した。

第2号議案 「しらすうなぎ養殖状況調査結果について（報告）」

内容について事務局が説明した。

第3号議案 「令和6年度 全国内水面漁場管理委員会連合会から関係省庁への
提案項目及び内容について（報告）」

内容について事務局が説明した。

6. 議事のあらまし

一見会長が挨拶した後、議長となり、議事録署名委員に宮本委員と仲野委員を指名して議事を進行した。

〔一見会長〕

第1号議案「内水面漁場計画の変更案について（事前協議）」を事務局から説明をお願いします。

〔事務局（赤井副主幹）〕

（資料1に基づいて説明。）

〔一見会長〕

漁場計画の計画番号第203号の計画を認めるということですか。

〔赤井副主幹〕

昨年、漁業権の一斉切替えにあたり、内水面委員会に諮問させていただいた内水面漁場計画というものがございまして、こちらを変更することについて認めていただきたいということです。今回はそのための事前協議になります。次回の11月に予定している委員会でも、正式に諮問させていただきたいと考えています。

〔一見会長〕

免許番号内区第202号が順調にいったいっているので、今回、内区第203号の計画ということですね。

〔赤井副主幹〕

第202号は短期免許のため、3月で切れてしまいます。漁協から続けてやりたいとの要望があり、同じ漁場で、引き続き第203号として免許をするため、計画するものです。

〔一見会長〕

第202号が消えるので、第203号に変わるということですね。

〔赤井副主幹〕

はい。

〔一見会長〕

では、内水面漁場計画について、何かご質問やご意見がありますか。

計画番号第203号になっていますが、免許番号第203号になるということですね。

〔赤井副主幹〕

はい。

〔一見会長〕

志度などでやられているカキ養殖漁場と比べて、カキの育ちはいいのですか。

〔赤井副主幹〕

昨年試験的に取り組まれており、志度で行われている「いかだ式」と違い、バスケットの中に1粒ずつの種を入れて育てるタイプのものであり、一概に比較は難しいと思いますが、順調に生育して味も良かったと聞いています。

〔藤原室長補佐〕

補足ですが、徳島の会社が種苗をつくっており、徳島でも養殖されていますが、徳島の現場と比べると瀬戸内海の方がプランクトンが多いので、成長が良いといわれています。

〔一見会長〕

それでは、お認め頂いたということでよろしいですね。第1号議案は可決されました。では、第2号議案「しらすうなぎ養殖状況調査結果について」を事務局から説明をお願いします。

〔事務局（丸山技師）〕

（資料2に基づいて説明。）

〔一見会長〕

何か質問ございますか。よろしいですね。

では、第3号議案「令和6年度 全国内水面漁場管理委員会連合会から関係省庁への提案項目及び内容について（報告）」を事務局から説明をお願いします。

〔事務局（小林副主幹）〕

（資料3に基づいて説明。）

〔一見会長〕

5月31日の総会に私も出席させていただきました。全部で7項目でしたが、外来

魚やカワウ対策など毎年上がってくる内容で、努力を続けるしかない状況です。特に声が上がったのが、放射性物質が降雨で、特に河川湖沼に溜まりやすいことで、その影響をなくしてほしいことや魚への蓄積のメカニズムについてしっかり調べてほしいということでした。またウナギに関しては、下りウナギの採捕禁止措置のところ特に声が大きかったと思います。まだまだ完全養殖まで時間がかかると思いますが、何とかそこは早くしてほしいということだと思います。提案行動があったということで、その質疑内容については現在、事務局で整理中だということですが次回報告いただけるということによろしいですか。

〔小林副主幹〕

はい。

〔鈴木委員〕

資料の 13 ページ（「河川湖沼環境の保全及び啓発について」）の 6 項目のところ
で、「アーマー化」という用語がありますが、どういった意味ですか。

〔小林副主幹〕

ダム建設に関する土木用語なのですが、上流からの土砂の供給が遮断されること
によって、洪水等で流されるような中礫以下の土砂が選択的に流され、粗粒化して
底質が固定化する現象です。要は、河床低下で河床の砂礫が減り、流出されにくい
大きなサイズの礫がたまっていく現象と聞いています。

〔鈴木委員〕

ダムがあるために、上流から土砂の供給ができなくなったということですね。

〔小林副主幹〕

はい。

〔一見会長〕

他に何かございませんか。よろしいですか。

〔一見会長〕

委員の皆様方から何かありますか。

（出席委員から特段の意見なし。）

〔一見会長〕

ありがとうございました。次回の内水面委員会の予定はどうですか。

〔小林副主幹〕

次回の内水面委員会は、11 月中旬を予定しております。

〔一見会長〕

それでは、本日はこれで、委員会を閉会いたします。

〔10時30分終了〕

上記は、第275回香川県内水面漁場管理委員会の議事の顛末に相違ありません。

議 長 一 見 和 彦

署名委員 宮 本 礼 子

署名委員 仲 野 和 夫